

【お問い合わせ】

国土交通省 九州地方整備局

佐賀国道事務所

〒849-0924

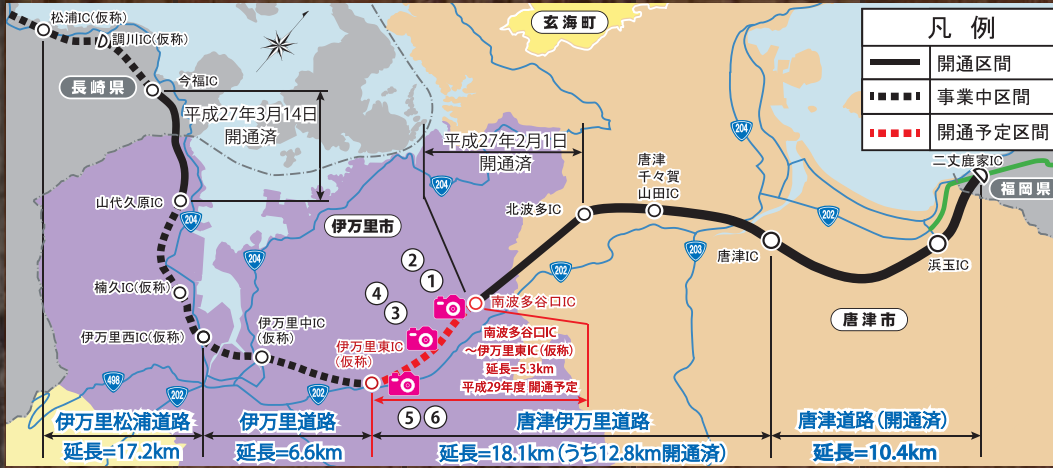
佐賀県佐賀市新中町5番10号

TEL0952-32-1151(代表)

<http://www.qsr.mlit.go.jp/sakoku/>



平成29年度「唐津伊万里道路」全線開通予定



西九州自動車道「唐津伊万里道路」南波多谷口ICより伊万里東IC(仮称)「延長5.3km」の開通に向けて工事を順調に進めています。佐賀国道事務所では平成28年度からICT土工の活用を進めています。3次元測定器を使った測量やマシンガイダンス(バックホウ)を利用した施工など省力化・生産性の向上を図っています。このような最先端の施工技術を活用しながら1日でも早く西九州自動車道の開通に向けて事業を推進して参りますので、地域の皆様方のご理解・ご協力をよろしく願いたします。

工事の進捗は、事務所ホームページでも確認できます。

西九州自動車道の現況

⑤ 府招地区より
終点側の掘削作業の様子

▲平成28年12月28日撮影

③ 高瀬地区より
橋の脚と桁を支える支保を組立て中

▲平成28年12月31日撮影

① 高瀬地区より
本線沿いの付替道路を施工中

▲平成28年12月27日撮影

⑥ 府招地区より
起点側上空より望む。盛土施工中

▲平成28年12月26日撮影

④ 原屋敷地区より
伊万里5号跨道橋施工の様子

▲平成28年12月28日撮影

② 上万場地区より
伊万里東IC(仮称)側を望む

▲平成29年1月4日撮影

リッキーの現場見学会



『今見て欲しい 九州の土木』
現場の「今」をご案内します。見学は無料。
応募方法など、詳細は下記 URL まで!
<http://www.qsr.mlit.go.jp/n-torikumi/kyushu-doboku/index.htm>

2020年までに高速道路での逆走事故をゼロに

～道路と自動車が連携、さらに安全な高速道路を目指す取り組み～

実施済みの逆走対策の状況



▲カラー舗装での路面表示



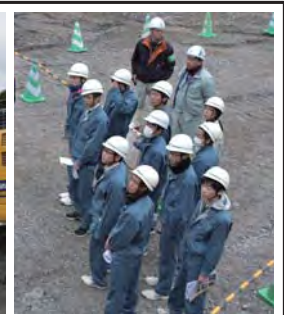
▲進入禁止看板の設置

高速道路での逆走は、高速道路での事故全体と比較して、死傷事故となる割合が4倍、死亡事故であれば40倍と、非常に危険な事案です。全国の高速道路では、2日に1回の頻度で逆走が発生しており、年間40件の事故が発生しています。

佐賀県内においては、これまでも佐賀国道事務所とNEXC O西日本が連携し、長崎自動車道「武雄北方IC」及び「多久IC」、西九州自動車道の「武雄南IC」において、カラー舗装などの路面表示、進入禁止看板ラバーポールなどの逆走防止対策を行って参りました。

今後は、無料区間である西九州自動車道及び厳木バイパスの各ICにて、同様の対策を推進し、逆走事故ゼロを目指してまいります。

KOSHIKAN 佐賀県立高志館高等学校



未来の担い手を前に、オペレーター達の手にも自然と力が入ります。高校生たちからは質問の声。普段の作業とは違った緊張感が漂っていました。

高校生たちの熱いまなざし。最先端の技術。土木の現場を体感。

2016/12/26 西九州自動車道 佐賀 497 号府招長田地区東・西改良工事現場にて



現場見学会 GENBA KENGA KUKAI

土木 × 女性 × ICT

佐賀県立伊万里農林高等学校

学校では学べない最先端の現場を見学。これからの建設業をリードするICT・女性の活躍などを間近で見る事ができ、貴重な経験になったのではないのでしょうか。常に進化を続ける建設業の素晴らしさが生徒たちに届き、建設業に進みたいと感じていただければ幸いです。

見つめる先は土木の未来。そこには女性の活躍する姿も。

2017/1/20 西九州自動車道 佐賀 497 号上万場地区北・南改良工事現場にて



▲第13回梅まつりの様子 『梅の種飛ばし大会』



▲伊万里市「広報いまり」より 昨年の第13回伊万里梅まつり



▲第13回梅まつりの様子 『梅学習発表会』

日..平成29年2月26日(日)
場所・伊万里梅園藤ノ尾(木須町)
約25畝と西九州一の広さを誇る梅の産地をPRし、梅を身近な食材として感じてもらうと開催されるものです。
昨年は、梅うどんや梅ごはんなど、梅を使った軽食や地元農産物の販売のほか、梅学習発表会や梅の種飛ばし大会などが開催されました。
市内外から訪れた多くの来園者は、早春の日差しを浴びて咲き誇る白や紅色の花を満喫し、一足早い春の訪れを楽しんでいました。

第14回伊万里梅まつり

